

オプトアウト文書

西暦 2026 年 8 月 28 日

「胃黄色腫の臨床病理学的特徴に関する研究」の対象になれる方および保護者の方へ
(臨床研究に関する情報)

三重中央医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の承認ならびに、病院長より許可を受け、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の相談窓口へお願いします。

[研究課題名] 胃黄色腫の臨床病理学的特徴に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 三重中央医療センター院長 下村 誠

[研究責任者所属・氏名] 三重中央医療センター 病理診断科 藤原 雅也

[分担者・氏名] 三重中央医療センター 病理診断科 村松 賢

三重中央医療センター 消化器内科 渡邊 典子

三重中央医療センター 消化器内科 葛原 正樹

三重中央医療センター 消化器内科 倉田 一成

三重中央医療センター 消化器内科 松嶋 竜太郎

[研究の目的]

本研究は、上部消化器の診療・治療で得られた情報および病理診断で使用した残余検体を用いて、胃黄色腫（良性疾患）の臨床病理学的特徴及び黄色腫の免疫組織化学的染色による検討を行い、胃黄色腫細胞の特徴及び臨床病理学的意義を明らかにさせていただきます。

[研究の方法]

1. 対象

2016 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに消化器内科において胃生検、あるいは内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)及び内視鏡的粘膜切除術(EMR)の治療を受けられた患者様

2. 利用、又は提供する試料・情報の項目

電子カルテを利用して、胃黄色腫の診断された患者様のデータ（性別、年齢、慢性萎縮性胃炎の診断、ピロリ菌の感染の有無、脂質代謝異常の有無、黄色腫の胃における場所、数、他の病気の合併）を調べさせていただきます。加えて、胃生検、あるいは内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)及び内視鏡的粘膜切除術(EMR)が行われて、病理診断に用いられた標本とそれらより作られたパラフィンブロックを利生して、どんなマクロファージ（炎症の時に集まる細胞）がいるのかを免疫組織化学的染色により調べます。本研究のために新たに情報を集めたり、検体を採取する事はありません。

3. 実施時期

2026 年 9 月 8 日開始予定

4. 研究期間

研究を行う期間は、許可日より 2027 年 3 月 31 日まで

5. 共同研究機関の名称および研究責任者の氏名

該当しません。

6. 個人情報の管理について

研究対象者の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化管理などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

7. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象者となった方が直接受けることができる利益はありませんが、今後、胃疾患の予防の向上や病因解析において貢献できる可能性が高いと考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。
(研究に協力されない場合も不利益等の影響はありません。)

[連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター 部署 病理診断科 役職 部長 氏名 藤原 雅也

TEL: 059-259-1211 (代表)